

平成25年度横浜市栄区生活支援センター事業報告

平成25年度事業計画に基づき次の通り事業を実施しました。

デイサービス事業では、センターに通所する利用者に対し、相談支援事業（面接、電話相談、嘱託医相談、カウンセラー相談等）、有料サービス事業（夕食、洗濯、入浴、インターネット等）及び各種イベント等を実施しました。

また、地域において単身で暮らす精神障害者の生活を支援する「自立生活アシスタント事業」、精神科病院に入院している患者の方々の退院促進と退院後の生活を支援する「地域移行・地域定着支援事業」、施設利用者や施設入所者を対象に、より充実した日常生活を営めるよう支援する「計画相談事業」を実施、精神障害者の方々の自立及び社会復帰並びに社会参加の促進を図るための支援を実施しました。

なお、実施に当たっては、当初の3部門体制を4部門体制（デイサービス、自立生活アシスタント事業、地域移行・地域定着支援、計画相談）とし事業の円滑な推進に努めました。

■ 登録者及び利用者数

- 1 登録者数： 989人(47人)（男性 601人(31人)、女性 388人(16人)
- 2 実利用者数： 411(47人)
- 3 延利用者数： 22,956人(△201人) 1日平均 65.6人(△0.4人)

■ 事業内容

- 1 開所日数： 350日(△3日)

2 事業実施状況

(1) デイサービス事業

ア. 日常生活支援

[援助方法] 電話相談 11,993件(△208件)、面接 1,487件(△62件)、
非構造面接 4,104件(△1,294件)、訪問・同行 134件(22件)
[相談件数] 17,584件(1,713件)

イ. 有料サービス

夕食サービス 5,202人(△761人)、入浴サービス 185人(△86人)、
洗濯サービス 226人(23人)、インターネット 42人(△43人)

ウ. 嘱託医相談

相談回数 35回 相談者 86人

エ・カウンセラー相談

相談回数 12回 相談者 42人

オ・グループカウンセリング

実施回数 10回 参加者 75人

カ. 自主事業

・定例事業

- 誕生会(12回～243人)、○昼食会(8回～265人)、○地域交流サロンひだまり参加(12回～2,400人)、○SAKAEピア(11回～87人)、○利用者ミーティング(12回～103人)、○SST講座(10回～60人)、○昼カラオケ(12回～109人)
- 楽ッキング(8回～113人)

・その他

- いたちまつり(300人)、○納涼会(85人)、○クリスマス会(72人)、○区民まつり(10人)、○バーベキュー大会(26人)、バスハイク(28人)、姫集まれ(2回～13人)、○ソフトボール大会及び練習(4回～30人)、○卓球大会(2回～24人)、○卓球教室(11人)、○水彩はがき絵教室(3回19人)、○書初め(8人)○初詣(11人)○ようこそ出会い広場(10人)

キ. 普及啓発活動

生活支援センターに対する理解と協力を得るため栄区社会福祉協議会や地域ケアプラザと協力し地区民生委員協議会を中心に講演会及び研修会を開催しました。

- ・ 豊田地区民生委員協議会研修会
- ・ 小菅ヶ谷地区民生委員協議会研修会
- ・ 野七里地区民生委員協議会及びケアマネージャー対象の研修会
- ・ 栄区社会福祉協議会地区社協分科会
- ・ 地区民生委員会研修会及び施設見学会

ク. その他

- ・ 小菅ヶ谷連合自治会町内会、小菅ヶ谷地区社会福祉協議会及び小菅ヶ谷第1町内会等のイベントに出席
- ・ 家族会(さかえ会)行事参加及び協力(月例会、新年会、講演会、研修会等)
- ・ 小菅ヶ谷地域ケアプラザ及び地域作業所等のイベントに参加

(2) 自立生活アシスタント事業

地域において単身で生活する精神障害者(自立生活アシスタント事業該当者)の方々の安定した生活を維持出来るよう支援しました。

また、支援に当たっては、専任職員のみではなく支援内容により適切な職員が担当するなど事業の充実を図りました。

○登録者数 16人(相談中 6人、支援修了者 4名)

○支援内容

- 1 金銭管理(計画性の指導と管理)
- 2 上手な対人関係について(家族関係、友人関係)
- 3 規則正しい生活の維持
- 4 通院同行

- 5 服薬指導及び管理
- 6 住環境整備(部屋の片づけ、引越しの援助、)
- 7 精神の安定
- 8 定期的訪問(生活状況の把握、精神的安定)
- 9 公共機関の各種申請及び相談
- 10 借金返済の相談
- 11 その他日常生活における問題の相談

(3) 地域移行・地域定着支援事業

地域移行・地域定着支援事業は病院の協力及び連携が必要不可欠です。昨年に引き続き退院に向けた不安を取り除くための普及啓発活動(生活支援センターの事業内容及び各種社会資源の紹介等)を積極的に進めました。

また、舞岡病院の IMR プログラム(グループワーク)や相原病院の地域移行・地域定着支援事業の周知活動プログラムに参加。病院職員及び入院患者との関係強化を図りました。

○ 支援者数 6 名(支援修了者 1 名、アセスメント中 1 名)

○ 普及啓発活動実施病院
横浜相原病院、舞岡病院、

(4) 計画相談事業(指定特定相談支援事業及び指定一般相談支援事業)

区福祉保健センターと連携し施設利用者や施設入所者の方々を対象に適切な社会資源の活用により一層充実し安心した日常生活を過ごせるよう支援しました。

※ 当初の計画を上回る実績をあげることができました。

総件数 5 件(特定相談件数 3 件、一般相談件数 2 件)

4 防災訓練

第 1 回 自衛消防訓練

平成 25 年 10 月 2 日(水)13:30~14:30

地域ケアプラザ 1 階厨房付近から出火

第 2 回自衛消防訓練

平成 26 年 3 月 6 日(木)13:30~14:30

生活支援センター調理室付近から出火

訓練内容

- (1) 通報、連絡訓練(非常用放送設備・複合火災受信機の確認操作
- (2) 初期消火訓練(火災報知器・消火器・排煙装置設置場所確認及び作動確認
初期消火訓練等)
- (3) 避難誘導訓練(非常口、避難経路の確認・2階非常口の開錠確認等)

(4) 消火器の取り扱い実地訓練 ・AED(除細動器)取り扱い訓練

■法人及び関係機関等会議 及び 行事 等

(1) 運営連絡会

◎ 第1回運営連絡会

日 時 平成25年4月12日(金)午後2時00分～

場 所 小菅ヶ谷地域ケアプラザ2階多目的ホール

議 題 ・平成24年度事業報告及び収支決算報告(仮)について
・平成24年度自立生活アシスタント事業実施状況について
・平成24年度地域移行・地域定着支援事業実施状況について
・新規事業「計画相談事業」について
・平成25年度事業計画及び収支決算予算について
・その他

出席者 14名

◎ 第2回運営連絡会

日 時 平成25年11月29日(金)午後3時00分～

場 所 小菅ヶ谷地域ケアプラザ2階多目的ホール

議 題 ・平成25年度上半期事業報告について
・平成25年度下半期事業について
・平成25年度自立生活アシスタント事業実施状況について
・平成25年度地域移行・地域定着支援事業実施状況について
・平成25年度計画相談事業について
・その他

出席者 14名

◎委員構成 田中 房一・野村 政晴・保坂 順彌・大森真由美・田中 健治
長瀬 潔・田中 伸一・宮川玲子・三橋 清二・亀沢 弘・黒瀬 浩子
大平 由子・三和美和子・森 君代・山本 明利・越智 祥汰
後藤 和男・菅原 道哉

(2) 横浜市関係

・横浜市生活支援センター施設長会議 ・病院説明会(地域移行・定着関係)
・ 市外在住者例外利用検討会・こころの電話相談関係機関連絡会等
・

(3) 栄区関係

・各種団体合同研修会・障害者週間キャンペーン・自立支援協議会・区福定例会・栄区
自殺予防対策分科会及びさかえハートフル月間本郷台駅前キャンペーン・栄区セーフ
コミュニティ認証式及び国際フォーラム・ネットワーク全体会及びネットワーク幹事会

(4) 区社会福祉協議会・地域自治会・事業所等

・栄区社会福祉大会・さかえ福祉フェスタ・区社協専門機関分科会・実務者連絡会・小菅
ヶ谷つながるプラン全大会及び分科会・移動サービス連絡会・経運営委員会・後見的支

援事業報告会・みちくさみち理事会及び総会 ・グリーンコーポ運営委員会 ・スペースもも
運営委員会 ・精神部会・自立生活アシスタント連絡会・地域移行・定着ブロック会議
・社会を明るくする運動フェア・障害者キャンペーン

(5)市精連関係

・市精連理事会・市精連総会・市精連センター連絡会・センター連ありかた検討会

(6)法人関係

・法人理事会・評議員会・総務委員会・ 恵友会の今後を考える会

■ 研修会参加

○県市関係

・障害者相談支援従事者初任者研修・計画相談説明会・発達障害者相談基礎研修
・自立生活アシスタント研修会・指定管理者研修会・公共建築物保全研修

○法人関係

・研修会等(恵友会講演会・恵友会管理職研修会・恵友会職員研修会等)

○その他

・実務者連絡秋事例検討会・メンタルヘルス学習会・SST 初級 10 時間研修
・精神医学基礎講座・浜家連市民向け講座・サービス調整会議研修会・

■実習生受け入れ

- ・6 月 神奈川県福祉サービス振興会精神障害者ホームヘルパー研修事業所実習生、
 - ・9 月 横浜 YMCA 学院専門学校実習生、
 - ・8 月 東海大学健康科学部社会福祉学科実習生
 - ・ // 区社協サマーボランティア学生
 - ・10 月 神奈川人材センター研修生
 - ・12 月 横浜市立大学医学部看護学科精神看護学科実習生、
 - ・3 月 横浜市病院協会看護専門学校学生実習生
- ※ その他、他施設の実習生を受け入れを実施しました。(4 箇所)

平成25年度

栄区生活支援センター指定管理料収支決算書

自平成25年 4月 1日

至平成26年 3月31日

(単位 円)

科目		予算額	決算額	差 額	備 考
Ⅰ 収入の部					
	1 指定管理料 収入	65,901,000	65,901,000	0	
A	2 利用料収入(給付費)		602,888	△ 602,888	
収入合計		65,901,000	66,503,888	△ 602,888	
Ⅱ 支出の部					
戻入 精算 B	1 人件費	53,689,000	49,506,189	4,182,811	
	所長	4,246,000	4,238,310	7,690	
	常勤職員	29,358,000	27,747,633	1,610,367	6名
	非常勤職員	7,219,000	6,640,515	578,485	4名
	アルバイト	2,478,000	1,168,783	1,309,217	1名
	調理アルバイト	2,457,000	3,106,975	△ 649,975	8名
	嘱託医賃金	800,000	801,864	△ 1,864	3名
	法定福利費	6,038,000	4,834,669	1,203,331	健康保険、厚生年金他
	退職金給与引当金	888,000	858,040	29,960	中退金
	福利厚生費	139,000	53,900	85,100	健康診断費用
	労務厚生費	66,000	55,500	10,500	ハマフレンド
	2 施設管理費	5,432,000	6,465,700	△ 1,033,700	
	光熱水費	3,423,000	3,580,926	△ 157,926	電気、ガス、水道料金
	庁舎管理費	1,799,000	2,644,446	△ 845,446	建物管理費、清掃等
	修繕積立金	300,000	300,000	0	大規模修繕積立金
	利用者負担金充当金	△ 90,000	△ 59,672	△ 30,328	入浴、インターネット等有料サービス
	3 運営費	3,840,000	5,508,413	△ 1,668,413	
	旅費	300,000	355,850	△ 55,850	出張旅費
	消耗品費	540,000	580,807	△ 40,807	事務用品、日用品、調理用品他
	印刷製本費	100,000	256,445	△ 156,445	コピー代、インク代他
	修繕費	500,000	530,983	△ 30,983	電気、水道関係工事他
	通信運搬費	550,000	687,267	△ 137,267	電話、ネット回線、CATV利用料他
	賃借料	790,000	978,040	△ 188,040	車両・コピー機・マット類リース料他
	備品等購入費	250,000	1,009,789	△ 759,789	パソコン、会議机、電話機他
	保険料	110,000	101,790	8,210	賠償責任保険料他
	雑費	700,000	1,007,442	△ 307,442	研修費、報償費、新聞代、会費他
	4 本部繰入金	2,940,000	3,148,500	△ 208,500	
支出合計		65,901,000	64,628,802	1,272,198	
Ⅲ 戻入精算					
A 利用料収入合計の15%			90,433		
B 人件費戻入精算分			4,182,811		
戻入合計			4,273,244		